

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



WASEDA University
早稲田大学

サステナビリティ社会に向け産学協力

三菱電機(株)・学校法人早稲田大学 サステナビリティ社会の実現に向け 包括連携に関する基本協定を締結

5つの領域 共同研究

学校法人早稲田大学(東京都新宿区、理事長：田中 愛治氏)・三菱電機株式会社(東京都千代田区、執行役社長：漆間 啓氏)は11月8日(水)、「サステナビリティ社会の実現に向けた包括連携に関する基本協定」を締結した。

今回、締結した基本協定は、早稲田大学と三菱電機がともに、サステナビリティ社会の実現を目指し、産学連携による研究・教育や人材交流の強化を

図ることを目的とした、両者の包括連携に関する協定。

両者は、本目的を達成するため、「カーボンニュートラル」、「サーキュラーエコノミー」、「安心・安全」、「インクルージョン」、「ウェルビーイング」の5つの領域における共同研究のテーマを探索し、研究開発・教育およびそれにかかる人材交流や育成等について、連携した活動を行っていく。

基本協定締結 の目的と背景

早稲田大学はカーボンニュートラル

社会の実現を目指し、2021年11月にカーボンニュートラル宣言を行い、さらにその実現に向けて2022年12月にはカーボンニュートラル社会研究教育センターを設置した。

カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー等の最先端の研究開発の推進、人材育成、また創立150周年となる2032年を目途に、各キャンパスにおけるCO₂の排出量実質ゼロ実現を目指している。

一方、三菱電機はサステナビリティの実現を経営の根幹に位置づけ、「カーボンニュートラル」、「サーキュラーエコノミー」、「安心・安全」、「イ

ンクルージョン」、「ウェルビーイング」を注力する5つの課題領域として設定し、事業を通じた社会課題解決による持続可能な社会への貢献を目指している。

とくに社会全体のカーボンニュートラルに向けては、「グリーン by エレクトロニクス」、「グリーン by デジタル」、「グリーン by サーキュラー」の3つのイノベーション領域での研究・開発を加速している。

カーボンニュートラル 社会の実現に向けて 研究開発成果創出

これまで早稲田大学と三菱電機は、エネルギーマネジメント技術の分野で共同研究を進めてきた。

今回、カーボンニュートラル社会の実現を双方が注力すべき重要なテーマと位置づけ、社会に貢献する研究開発成果の創出と、それを牽引していく中核人材の育成に取り組んでいく。

今後の取り組み

早稲田大学と三菱電機は、本協定の枠組みのもと、最初の取り組みとして両者共通の重要テーマであるカーボンニュートラルに加え、ユーザーにとって大切な快適性や健康などのウェルビーイング視点も取り入れることで、得られた成果を早期に社会実装することを目指していく。

さらに、他の領域における共同研究テーマを探索していく。

また、両者のネットワークを活用しながら他大学・他企業・地域と連携し、社会全体への展開も図っていく。

(※資料提供：三菱電機)



(写真左から) 早稲田大学 総長 田中 愛治氏と三菱電機 執行役社長 漆間 啓氏